



## プレス・リリース

### EPC エア・インタフェース標準の新バージョン「Gen2v2」承認

ブリュッセル、ベルギー、2013年11月7日ー非営利・中立の標準開発機関であるGS1（ジー・エス・ワン）は本日、電子タグ標準のアップデート版であるEPC Gen2を承認したことを発表しました。

このEPC UHF Gen2エア・インタフェース標準には、新機能や追加機能が含まれています。偽装品対策や、製品やタグのセキュリティなど、サプライチェーン上の複雑な課題に対応します。

今回のEPC Gen2v2は、Gen2バージョン（2004年に初版発表）をもとにした「個品レベルでのタグ付け」に対応したバージョンを2008年に発表して以来、初めてのアップデートとなります。GS1のCTOでEPCglobalプレジデントであるSteve Bratt氏は、「EPC Gen2は、世界中のさまざまな業界におけるUHF帯電子タグ導入の標準としてその地位を確立し、今日では電子タグ導入のバックボーンとなっています。Gen2v2は、企業がこれまでに行ってきたEPC/RFIDへの投資をさらに拡大させ、サプライチェーンの真の成長に貢献していくでしょう」と語っています。

Gen2はこれまで、サプライチェーンの可視化を容易にする、あるいはタグの読取率を向上させる、タグ性能を改善する唯一のUHF帯電子タグの世界標準でしたが、EPCユーザ・コミュニティではより多用途に使う方法を模索してきました。Gen2v2は、多種多様な関係者グループが業界を超え、何年にも渡って続けてきた協働作業の成果です。

Gen2v2標準の導入が企業にもたらす利点には、以下のものがあります。

- ・ 電子製品の埋込み式タグのサポート
- ・ ユーザー・メモリの強化により、製品のライフサイクルを通して、補助的なエンコーディングの柔軟性を向上
- ・ 電子タグおよびリーダの暗号認証サポートによる、出所の確認、アクセス制限、偽装品リスクの低減
- ・ タグ・データの一部を隠す、アクセス権限の制限、タグの読取範囲縮小によるプライバシー対策の向上

Johnson & JohnsonのMike Rose氏は、「サプライチェーンのセキュリティを確保することは業界のもっとも重要な課題のひとつです。EPC Gen2v2は、製品認証、企業間の可視化、相互運用性の改善により、サプライチェーンの完全性を高める手助けになるでしょう」と語っています。



個品レベルでの EPC 対応電子タグ付けにより顧客サービスや偽造品対策の改善が期待できることから、最終的には消費者にも利益がもたらされます。また、製品があるべき場所に、あるべき時に用意されている状態を確保する上で必要となる可視性が実現します。

MIT (Massachusetts Institute of Technology) の Sanjay Sarma 教授は、「ちょうど 10 年前の 11 月に産業界が集まり、一連の GS1 EPC 標準の開発を始めました。今回の発表は、これに匹敵する重要なマイルストーンです」と語っています。「EPC Gen2v2 により、今後 10 年の間に、航空宇宙産業および国防、家庭用電化製品、製薬、ワインと蒸留酒、高級ファッションなど、さまざまな業界で UHF のさらなる導入が進むでしょう」

2014 年には、ISO による Gen2v2 の ISO/IEC 18000-63 標準への反映が実施される予定です。これにより、UHF 対応電子タグ機器の互換性と相互運用性が実現します。またその後には、GS1 の EPC タグ・データ標準 (TDS) による Gen2v2 のサポートが決定しています。

より詳しい情報は、下記までお問い合わせください。

Craig Alan Repec  
Senior Manager EPCglobal Technology, GS1  
+32 2 788 78 16  
[craig.alan.repec@gs1.org](mailto:craig.alan.repec@gs1.org)

Lisa Sandberg  
Global Marketing Director, GS1  
+1 609 557 4571  
[lisa.sandberg@gs1.org](mailto:lisa.sandberg@gs1.org)

## GS1 とは

GS1 は、中立的な非営利のグローバル組織で、世界でもっとも広く利用されているサプライチェーン標準システムの開発と維持を行います。GS1 標準は、さまざまなセクターのサプライチェーンにおける効率性と安全、可視性を改善します。

110 カ国に加盟国を持つ GS1 は、企業、業界団体、政府、テクノロジー・プロバイダーなどからなるコミュニティであり、グローバル標準の適用と導入を通して、ビジネスにおけるニーズに対応しています。

GS1 のユーザー企業は 100 万社以上にのぼり、GS1 標準を利用したトランザクションは 1 日に 60 億件以上、150 カ国で行われています。より詳しい情報は、[www.gs1.org](http://www.gs1.org) でご覧いただけます。